

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 熊本県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
熊本市	熊本市民病院	3
熊本市	植木病院	4
荒尾市	荒尾市民病院	5
水俣市	国保水俣市立総合医療センター	6
山鹿市	山鹿市民医療センター	7
上天草市	上天草総合病院	8
宇城市	宇城市民病院	9
阿蘇市	阿蘇医療センター	10
天草市	天草市立牛深市民病院	11
天草市	天草市立栖本病院	12
天草市	国民健康保険 天草市立 新和病院	13
天草市	河浦病院	14
和水町	和水町立病院	15
山都町	山都町包括医療センターそよ う病院	16
くまもと県北病院機構設 立組合	くまもと県北病院	17
小国町外 1 ヶ町公立病院 組合	小国公立病院	18
球磨郡公立多良木病院企 業団	多良木病院	19

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				熊本県
市町村・組合名				
病院名	こころの医療センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	11,975 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	4	指定病院の状況	臨	
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	精神病院	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	10	-	4.8	5.6
精神	190	52.5	53.6	57.3
感染症	-	-	-	-
計	200	50.2	51.1	54.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,738,301	
決算規模(千円)	901,784,321	
標準財政規模(千円)	425,881,959	
財政力指数	0.42692	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	210.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,698,474			
1 経常収益	1,682,376			
(1) 医業収益	742,787			
入院収益	594,818			
外来収益	128,915			
診療収入計	723,733			
その他医業収益	19,054			
(うち他会計負担金)	15,239			
(2) 医業外収益	939,589			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	872,319			
(うち長期前受金戻入)	15,345			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,098			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,676,828			
2 経常費用	1,652,430			
(1) 医業費用	1,603,973			
職員給与費	1,068,358	143.8	62.1	104.8
材料費	59,528	8.0	25.3	8.7
(うち薬品費)	45,758	6.2	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,277	1.8	11.4	1.3
減価償却費	162,830	21.9	9.5	13.5
経費	305,428	41.1	22.7	33.3
(うち委託料)	183,933	24.8	12.6	18.6
研究研修費	2,086			
資産減耗費	5,743			
(2) 医業外費用	48,457			
(うち支払利息)	48,457	6.5	1.3	2.7
(3) 特別損失	24,398			
経常損益	29,946			
純損益	21,646			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		101.9	101.4
医業収支比率	46.3		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	52.8		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	119.5		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	52.3		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	48.1		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,839,286
1 固定資産	3,140,084
(1) 有形固定資産	3,139,843
(2) 無形固定資産	241
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,699,202
(1) 現金及び預金	1,575,288
(2) 未収金及び未収収益	118,816
(3) 貸倒引当金()	633
(4) 貯蔵品	5,731
3 繰延資産	-
負債合計	2,714,405
1 固定負債	1,872,639
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,271,090
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	567,767
(7) リース債務	33,782
2 流動負債	459,571
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	248,182
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,223
(6) リース債務	17,626
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	120,954
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	382,195
(1) 長期前受金	864,727
(2) 長期前受金収益化累計額()	482,532
資本合計	2,124,881
1 資本金	2,089,987
2 剰余金	34,894
(1) 資本金剰余金	1,550
(2) 利益剰余金	33,344
負債・資本合計	4,839,286
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	45.4
修正医業収益(千円)	727,548

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	887,558	887,558
資本勘定繰入	-	-
計	887,558	887,558

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				熊本県
市町村・組合名	熊本市			
病院名	熊本市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	39,810 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感 輪	
許可公営企業	許可	看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	380	70.6	21.5	82.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	60.6	14.9	-
計	388	70.4	21.4	82.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	10.1	6.6

設立団体の状況		
人口(人)	738,865	
決算規模(千円)	448,374,119	
標準財政規模(千円)	195,249,864	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	121.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.0
修正医業収益(千円)	8,913,477

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,358,727			
1 経常収益	12,892,879			
(1) 医業収益	9,056,959			
入院収益	6,929,061			
外来収益	1,860,928			
診療収入計	8,789,989			
その他医業収益	266,970			
(うち他会計負担金)	143,482			
(2) 医業外収益	3,835,920			
(うち国・都道府県補助金)	2,369,502			
(うち他会計補助・負担金)	866,594			
(うち長期前受金戻入)	461,697			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	465,848			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,296,776			
2 経常費用	12,039,039			
(1) 医業費用	11,426,021			
職員給与費	6,139,018	67.8	62.1	63.5
材料費	1,968,891	21.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	826,251	9.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,133,828	12.5	11.4	11.8
減価償却費	1,327,428	14.7	9.5	10.0
経費	1,975,079	21.8	22.7	21.7
(うち委託料)	1,372,014	15.1	12.6	12.2
研究研修費	13,704			
資産減耗費	1,901			
(2) 医業外費用	613,018			
(うち支払利息)	145,000	1.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	257,737			
損益				
経常損益	853,840			
純損益	1,061,951			
累積欠損金	17,989,326			
経常収支比率	107.1		101.9	101.7
医業収支比率	79.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	98.7		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,246,633
1 固定資産	23,255,472
(1) 有形固定資産	21,383,963
(2) 無形固定資産	461,212
(3) 投資その他の資産	1,410,297
2 流動資産	4,991,161
(1) 現金及び預金	1,770,634
(2) 未収金及び未収収益	3,387,660
(3) 貸倒引当金()	225,670
(4) 貯蔵品	58,537
3 繰延資産	-
負債合計	43,821,395
1 固定負債	32,776,450
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,632,452
(2) その他の企業債	12,384,369
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,726,534
(7) リース債務	33,095
2 流動負債	2,451,011
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	482,070
(2) その他の企業債	294,209
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	451,391
(6) リース債務	44,016
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,099,347
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,593,934
(1) 長期前受金	12,282,211
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,688,277
資本合計	-15,574,762
1 資本金	4,278,492
2 剰余金	-19,853,254
(1) 資本金剰余金	478,577
(2) 利益剰余金	-20,331,831
負債・資本合計	28,246,633
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	15,574,762
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,980,828

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,010,076	1,010,076
資本勘定繰入	234,429	234,429
計	1,244,505	1,244,505

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	193.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	9,362,149
地財法上の資金不足比率(%)	89.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				熊本県
市町村・組合名	熊本市			
病院名	植木病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	10,564 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業	許可	看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	102	55.9	72.1	57.8
療養	39	92.8	73.1	53.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	141	66.1	72.4	56.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	19.9	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	738,865	
決算規模(千円)	448,374,119	
標準財政規模(千円)	195,249,864	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	121.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,716,475			
1 経常収益	2,650,684			
(1) 医業収益	1,445,960			
入院収益	1,010,929			
外来収益	200,448			
診療収入計	1,211,377			
その他医業収益	234,583			
(うち他会計負担金)	165,322			
(2) 医業外収益	1,204,724			
(うち国・都道府県補助金)	983,976			
(うち他会計補助・負担金)	166,773			
(うち長期前受金戻入)	49,888			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	65,791			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,976,031			
2 経常費用	1,963,290			
(1) 医業費用	1,869,163			
職員給与費	1,164,349	80.5	62.1	67.4
材料費	129,551	9.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	41,607	2.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	80,923	5.6	11.4	8.8
減価償却費	105,067	7.3	9.5	10.7
経費	464,367	32.1	22.7	29.2
(うち委託料)	250,401	17.3	12.6	13.9
研究研修費	1,515			
資産減耗費	4,314			
(2) 医業外費用	94,127			
(うち支払利息)	30,415	2.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	12,741			
損益				
経常損益	687,394			
純損益	740,444			
累積欠損金	2,342,505			
経常収支比率	135.0		101.9	100.3
医業収支比率	77.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	118.1		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,246,633
1 固定資産	23,255,472
(1) 有形固定資産	21,383,963
(2) 無形固定資産	461,212
(3) 投資その他の資産	1,410,297
2 流動資産	4,991,161
(1) 現金及び預金	1,770,634
(2) 未収金及び未収収益	3,387,660
(3) 貸倒引当金()	225,670
(4) 貯蔵品	58,537
3 繰延資産	-
負債合計	43,821,395
1 固定負債	32,776,450
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,632,452
(2) その他の企業債	12,384,369
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,726,534
(7) リース債務	33,095
2 流動負債	2,451,011
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	482,070
(2) その他の企業債	294,209
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	451,391
(6) リース債務	44,016
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,099,347
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	8,593,934
(1) 長期前受金	12,282,211
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,688,277
資本合計	-15,574,762
1 資本金	4,278,492
2 剰余金	-19,853,254
(1) 資本金剰余金	478,577
(2) 利益剰余金	-20,331,831
負債・資本合計	28,246,633
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	15,574,762
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,980,828
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.5
修正医業収益(千円)	1,280,638

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	332,095	332,095
資本勘定繰入	126,413	126,413
計	458,508	458,508

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	193.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	9,362,149
地財法上の資金不足比率(%)	89.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	荒尾市				
病院名	荒尾市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,145 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	270	76.7	83.5	85.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	16.5	0.9	-
計	274	75.8	82.3	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	15.6	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	50,832	
決算規模(千円)	30,444,946	
標準財政規模(千円)	12,042,096	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.4
修正医業収益(千円)	5,770,016

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,639,722			
1 経常収益	7,516,361			
(1) 医業収益	6,009,039			
入院収益	4,062,067			
外来収益	1,570,625			
診療収入計	5,632,692			
その他医業収益	376,347			
(うち他会計負担金)	239,023			
(2) 医業外収益	1,507,322			
(うち国・都道府県補助金)	1,192,679			
(うち他会計補助・負担金)	233,637			
(うち長期前受金戻入)	7,042			
(うち資本費繰入収益)	9,880			
(3) 特別利益	123,361			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,874,628			
2 経常費用	6,747,737			
(1) 医業費用	6,454,551			
職員給与費	3,969,186	66.1	62.1	66.1
材料費	1,351,147	22.5	25.3	19.8
(うち薬品費)	776,341	12.9	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	519,687	8.6	11.4	9.3
減価償却費	232,760	3.9	9.5	10.2
経費	884,080	14.7	22.7	28.2
(うち委託料)	553,770	9.2	12.6	13.6
研究研修費	9,845			
資産減耗費	7,533			
(2) 医業外費用	293,186			
(うち支払利息)	3,651	0.1	1.3	1.6
(3) 特別損失	126,891			
損益				
経常損益	768,624			
純損益	765,094			
累積欠損金	63,065			
経常収支比率	111.4		101.9	99.9
医業収支比率	93.1		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	104.4		89.3	86.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,243,928
1 固定資産	2,581,216
(1) 有形固定資産	2,416,042
(2) 無形固定資産	2,109
(3) 投資その他の資産	163,065
2 流動資産	2,662,712
(1) 現金及び預金	1,339,009
(2) 未収金及び未収収益	1,326,507
(3) 貸倒引当金()	3,550
(4) 貯蔵品	746
3 繰延資産	-
負債合計	3,823,212
1 固定負債	2,090,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	891,556
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,198,521
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,488,113
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	243,456
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	233,889
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	979,036
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	245,022
(1) 長期前受金	347,462
(2) 長期前受金収益化累計額()	102,440
資本合計	1,420,716
1 資本金	1,443,386
2 剰余金	-22,670
(1) 資本金剰余金	40,395
(2) 利益剰余金	-63,065
負債・資本合計	5,243,928
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	472,660	472,660
資本勘定繰入	149,025	9,880
計	621,685	482,540

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	水俣市				
病院名	国保水俣市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	29,327 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	357	71.0	77.8	72.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	9.6	-	-
計	361	70.3	76.9	71.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	19.9	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	23,557	
決算規模(千円)	20,479,637	
標準財政規模(千円)	8,326,585	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	51.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.8
修正医業収益(千円)	6,485,130

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,874,049			
1 経常収益	7,865,708			
(1) 医業収益	6,664,885			
入院収益	3,963,598			
外来収益	2,352,831			
診療収入計	6,316,429			
その他医業収益	348,456			
(うち他会計負担金)	179,755			
(2) 医業外収益	1,200,823			
(うち国・都道府県補助金)	709,044			
(うち他会計補助・負担金)	228,440			
(うち長期前受金戻入)	75,300			
(うち資本費繰入収益)	128,805			
(3) 特別利益	8,341			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,275,439			
2 経常費用	7,224,659			
(1) 医業費用	6,914,637			
職員給与費	4,204,064	63.1	62.1	63.5
材料費	1,433,387	21.5	25.3	24.9
(うち薬品費)	789,164	11.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	572,206	8.6	11.4	11.8
減価償却費	460,380	6.9	9.5	10.0
経費	772,438	11.6	22.7	21.7
(うち委託料)	301,429	4.5	12.6	12.2
研究研修費	10,505			
資産減耗費	33,863			
(2) 医業外費用	310,022			
(うち支払利息)	24,609	0.4	1.3	1.4
(3) 特別損失	50,780			
損益				
経常損益	641,049			
純損益	598,610			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.9		101.9	101.7
医業収支比率	96.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	5.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	103.2		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,662,484
1 固定資産	5,733,542
(1) 有形固定資産	5,367,493
(2) 無形固定資産	429
(3) 投資その他の資産	365,620
2 流動資産	6,928,942
(1) 現金及び預金	5,475,057
(2) 未収金及び未収収益	1,410,210
(3) 貸倒引当金()	1,955
(4) 貯蔵品	45,630
3 繰延資産	-
負債合計	6,845,432
1 固定負債	4,027,818
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,289,804
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,738,014
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,967,978
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	466,082
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,248
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,142,327
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	849,636
(1) 長期前受金	1,541,830
(2) 長期前受金収益化累計額()	692,194
資本合計	5,817,052
1 資本金	2,049,818
2 剰余金	3,767,234
(1) 資本金剰余金	14,204
(2) 利益剰余金	3,753,030
負債・資本合計	12,662,484
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	408,195	408,195
資本勘定繰入	166,002	128,805
計	574,197	537,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	山鹿市				
病院名	山鹿市民医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,198 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	197	59.3	69.9	73.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	61.4	-	-
計	201	59.4	68.5	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	18.9	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	49,025	
決算規模(千円)	36,107,377	
標準財政規模(千円)	17,024,464	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.3
修正医業収益(千円)	2,835,953

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,057,556			
1 経常収益	4,046,317			
(1) 医業収益	2,967,298			
入院収益	2,054,113			
外来収益	656,885			
診療収入計	2,710,998			
その他医業収益	256,300			
(うち他会計負担金)	131,345			
(2) 医業外収益	1,079,019			
(うち国・都道府県補助金)	620,429			
(うち他会計補助・負担金)	198,694			
(うち長期前受金戻入)	18,386			
(うち資本費繰入収益)	229,358			
(3) 特別利益	11,239			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,773,000			
2 経常費用	3,771,095			
(1) 医業費用	3,575,105			
職員給与費	2,131,272	71.8	62.1	66.1
材料費	638,416	21.5	25.3	19.8
(うち薬品費)	282,491	9.5	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	327,546	11.0	11.4	9.3
減価償却費	279,011	9.4	9.5	10.2
経費	511,831	17.2	22.7	28.2
(うち委託料)	256,410	8.6	12.6	13.6
研究研修費	2,656			
資産減耗費	11,919			
(2) 医業外費用	195,990			
(うち支払利息)	34,606	1.2	1.3	1.6
(3) 特別損失	1,905			
損益				
経常損益	275,222			
純損益	284,556			
累積欠損金	808,758			
経常収支比率	107.3		101.9	99.9
医業収支比率	83.0		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	98.5		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,070,427
1 固定資産	3,831,792
(1) 有形固定資産	3,765,499
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,293
2 流動資産	1,238,635
(1) 現金及び預金	439,953
(2) 未収金及び未収収益	818,259
(3) 貸倒引当金()	36,077
(4) 貯蔵品	16,500
3 繰延資産	-
負債合計	5,569,424
1 固定負債	3,804,084
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,403,508
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	600,000
(6) 引当金	800,576
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,603,884
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	450,765
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	164,240
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	527,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	161,456
(1) 長期前受金	449,802
(2) 長期前受金収益化累計額()	288,346
資本合計	-498,997
1 資本金	174,118
2 剰余金	-673,115
(1) 資本金剰余金	103,795
(2) 利益剰余金	-776,910
負債・資本合計	5,070,427
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	498,997
資本不足額(繰延収益控除後)()	337,541
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	320,711	330,039
資本勘定繰入	229,358	229,358
計	550,069	559,397

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	99,320	3.2
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	上天草市				
病院名	上天草総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,805 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	149	76.9	77.7	75.5
療養	46	98.2	90.8	88.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	195	82.0	80.8	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	16.9	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	24,563	
決算規模(千円)	21,501,990	
標準財政規模(千円)	10,326,366	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	102.0
修正医業収益(千円)	2,915,516

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,897,119			
1 経常収益	3,897,072			
(1) 医業収益	3,004,157			
入院収益	1,826,594			
外来収益	908,748			
診療収入計	2,735,342			
その他医業収益	268,815			
(うち他会計負担金)	88,641			
(2) 医業外収益	892,915			
(うち国・都道府県補助金)	350,187			
(うち他会計補助・負担金)	90,035			
(うち長期前受金戻入)	8,581			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	47			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,523,337			
2 経常費用	3,523,337			
(1) 医業費用	2,859,427			
職員給与費	1,945,928	64.8	62.1	67.4
材料費	401,054	13.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	156,564	5.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	196,245	6.5	11.4	8.8
減価償却費	144,993	4.8	9.5	10.7
経費	362,014	12.1	22.7	29.2
(うち委託料)	104,963	3.5	12.6	13.9
研究研修費	2,696			
資産減耗費	2,742			
(2) 医業外費用	663,910			
(うち支払利息)	1,782	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	373,735			
純損益	373,782			
累積欠損金	744,658			
経常収支比率	110.6		101.9	100.3
医業収支比率	105.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	105.5		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,236,900
1 固定資産	4,171,813
(1) 有形固定資産	4,147,429
(2) 無形固定資産	3,744
(3) 投資その他の資産	20,640
2 流動資産	1,065,087
(1) 現金及び預金	329,546
(2) 未収金及び未収収益	710,523
(3) 貸倒引当金()	1,251
(4) 貯蔵品	24,244
3 繰延資産	-
負債合計	2,675,325
1 固定負債	1,968,717
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,470,308
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	498,409
(7) リース債務	-
2 流動負債	553,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,866
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	145,180
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	226,789
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	152,694
(1) 長期前受金	603,314
(2) 長期前受金収益化累計額()	450,620
資本合計	2,561,575
1 資本金	3,233,402
2 剰余金	-671,827
(1) 資本金剰余金	72,831
(2) 利益剰余金	-744,658
負債・資本合計	5,236,900
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	229,672	178,676
資本勘定繰入	155,864	153,607
計	385,536	332,283

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	宇城市				
病院名	宇城市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,158 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	45	38.3	55.7	52.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	38.3	55.7	52.8
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	21.1	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	57,032	
決算規模(千円)	44,976,949	
標準財政規模(千円)	17,659,438	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	15.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	372,835			
1 経常収益	369,827			
(1) 医業収益	303,889			
入院収益	136,457			
外来収益	112,713			
診療収入計	249,170			
その他医業収益	54,719			
(うち他会計負担金)	34,457			
(2) 医業外収益	65,938			
(うち国・都道府県補助金)	9,830			
(うち他会計補助・負担金)	50,782			
(うち長期前受金戻入)	4,394			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,008			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	483,887			
2 経常費用	479,187			
(1) 医業費用	468,401			
職員給与費	294,162	96.8	62.1	89.0
材料費	19,589	6.4	25.3	14.0
(うち薬品費)	11,287	3.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,000	2.6	11.4	5.4
減価償却費	21,639	7.1	9.5	13.0
経費	132,409	43.6	22.7	47.1
(うち委託料)	67,639	22.3	12.6	22.5
研究研修費	200			
資産減耗費	402			
(2) 医業外費用	10,786			
(うち支払利息)	51	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	4,700			
損益				
経常損益	-109,360			
純損益	-111,052			
累積欠損金	233,951			
経常収支比率	77.2		101.9	98.5
医業収支比率	64.9		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	28.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	22.9		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	59.4		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	810,122
1 固定資産	329,485
(1) 有形固定資産	329,297
(2) 無形固定資産	188
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	480,637
(1) 現金及び預金	411,503
(2) 未収金及び未収収益	68,406
(3) 貸倒引当金()	1,255
(4) 貯蔵品	1,983
3 繰延資産	-
負債合計	360,415
1 固定負債	296,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,794
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	245,380
(7) リース債務	-
2 流動負債	45,023
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,298
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,706
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,019
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,218
(1) 長期前受金	43,595
(2) 長期前受金収益化累計額()	24,377
資本合計	449,707
1 資本金	677,708
2 剰余金	-228,001
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-228,001
負債・資本合計	810,122
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.5
修正医業収益(千円)	269,432

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,761	85,239
資本勘定繰入	1,785	1,785
計	202,546	87,024

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			熊本県
市町村・組合名	阿蘇市		
病院名	阿蘇医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,336 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	47.6	61.7	72.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	40.3	-	-
計	124	47.4	59.8	70.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	14.0	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	24,930	
決算規模(千円)	20,490,407	
標準財政規模(千円)	9,725,609	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	41.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,945,329			
1 経常収益	2,944,744			
(1) 医業収益	1,535,871			
入院収益	791,214			
外来収益	571,913			
診療収入計	1,363,127			
その他医業収益	172,744			
(うち他会計負担金)	91,410			
(2) 医業外収益	1,408,873			
(うち国・都道府県補助金)	1,059,804			
(うち他会計補助・負担金)	232,313			
(うち長期前受金戻入)	106,739			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	585			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,486,462			
2 経常費用	2,484,031			
(1) 医業費用	2,335,553			
職員給与費	1,127,291	73.4	62.1	67.4
材料費	252,447	16.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	99,898	6.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	136,735	8.9	11.4	8.8
減価償却費	229,501	14.9	9.5	10.7
経費	724,319	47.2	22.7	29.2
(うち委託料)	334,184	21.8	12.6	13.9
研究研修費	1,995			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	148,478			
(うち支払利息)	40,152	2.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	2,431			
損益				
経常損益	460,713			
純損益	458,867			
累積欠損金	2,036,882			
経常収支比率	118.5		101.9	100.3
医業収支比率	65.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	105.5		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,050,283
1 固定資産	3,926,401
(1) 有形固定資産	3,926,401
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,010,170
(1) 現金及び預金	486,158
(2) 未収金及び未収収益	518,662
(3) 貸倒引当金()	2,988
(4) 貯蔵品	8,338
3 繰延資産	113,712
負債合計	5,432,740
1 固定負債	4,094,029
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,096,809
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	713,320
(6) 引当金	283,900
(7) リース債務	-
2 流動負債	617,894
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	122,351
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	26,034
(5) 引当金	77,936
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	391,399
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	720,817
(1) 長期前受金	1,419,082
(2) 長期前受金収益化累計額()	698,265
資本合計	-382,457
1 資本金	1,445,377
2 剰余金	-1,827,834
(1) 資本金剰余金	201,330
(2) 利益剰余金	-2,029,164
負債・資本合計	5,050,283
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	382,457
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.8
修正医業収益(千円)	1,444,461

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	391,306	323,723
資本勘定繰入	58,929	58,929
計	450,235	382,652

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	天草市				
病院名	天草市立牛深市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,225 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	105	55.8	75.0	76.4
療養	43	74.2	78.6	71.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	61.2	76.0	75.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	24.6	25.1

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	64,388,013	
標準財政規模(千円)	31,222,012	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	20.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,072,938			
1 経常収益	2,072,938			
(1) 医業収益	1,413,391			
入院収益	822,537			
外来収益	438,110			
診療収入計	1,260,647			
その他医業収益	152,744			
(うち他会計負担金)	79,093			
(2) 医業外収益	659,547			
(うち国・都道府県補助金)	447,025			
(うち他会計補助・負担金)	126,216			
(うち長期前受金戻入)	73,989			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,793,142			
2 経常費用	1,793,142			
(1) 医業費用	1,713,633			
職員給与費	1,177,859	83.3	62.1	67.4
材料費	171,485	12.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	72,920	5.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,229	5.4	11.4	8.8
減価償却費	114,949	8.1	9.5	10.7
経費	232,008	16.4	22.7	29.2
(うち委託料)	101,897	7.2	12.6	13.9
研究研修費	368			
資産減耗費	16,964			
(2) 医業外費用	79,509			
(うち支払利息)	21,001	1.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	279,796			
純損益	279,796			
累積欠損金	618,395			
経常収支比率	115.6		101.9	100.3
医業収支比率	82.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	104.2		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,458,483
1 固定資産	5,595,059
(1) 有形固定資産	4,464,953
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,129,246
2 流動資産	3,863,424
(1) 現金及び預金	2,789,470
(2) 未収金及び未収収益	1,077,232
(3) 貸倒引当金()	3,278
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,698,944
1 固定負債	2,827,948
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,921,860
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	906,088
(7) リース債務	-
2 流動負債	877,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	358,814
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,535
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,253
(9) 前受金及び前受収益	12,703
3 繰延収益	993,443
(1) 長期前受金	1,738,789
(2) 長期前受金収益化累計額()	745,346
資本合計	4,759,539
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	1,220,578
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,220,578
負債・資本合計	9,458,483
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.9
修正医業収益(千円)	1,334,298

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	334,380	205,309
資本勘定繰入	117,702	118,321
計	452,082	323,630

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	天草市				
病院名	天草市立栖本病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,491 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	24	56.8	68.4	71.0
療養	-	-	-	-
結核	46	4.6	9.7	3.9
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	22.5	29.8	26.9
平均在院日数(一般病床のみ)		25.9	24.5	24.3

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	64,388,013	
標準財政規模(千円)	31,222,012	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	20.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	51.9
修正医業収益(千円)	242,883

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,318,955			
1 経常収益	1,318,955			
(1) 医業収益	280,284			
入院収益	138,610			
外来収益	89,936			
診療収入計	228,546			
その他医業収益	51,738			
(うち他会計負担金)	37,401			
(2) 医業外収益	1,038,671			
(うち国・都道府県補助金)	867,875			
(うち他会計補助・負担金)	150,450			
(うち長期前受金戻入)	18,807			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	485,061			
2 経常費用	485,061			
(1) 医業費用	468,135			
職員給与費	315,936	112.7	62.1	78.9
材料費	31,877	11.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	9,061	3.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,708	6.7	11.4	6.0
減価償却費	39,165	14.0	9.5	11.7
経費	80,744	28.8	22.7	31.2
(うち委託料)	28,639	10.2	12.6	14.3
研究研修費	284			
資産減耗費	129			
(2) 医業外費用	16,926			
(うち支払利息)	192	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収益	833,894			
純損益	833,894			
累積欠損金	-			
経常収支比率	271.9		101.9	100.3
医業収支比率	59.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	67.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	233.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,458,483
1 固定資産	5,595,059
(1) 有形固定資産	4,464,953
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,129,246
2 流動資産	3,863,424
(1) 現金及び預金	2,789,470
(2) 未収金及び未収収益	1,077,232
(3) 貸倒引当金()	3,278
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,698,944
1 固定負債	2,827,948
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,921,860
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	906,088
(7) リース債務	-
2 流動負債	877,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	358,814
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,535
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,253
(9) 前受金及び前受収益	12,703
3 繰延収益	993,443
(1) 長期前受金	1,738,789
(2) 長期前受金収益化累計額()	745,346
資本合計	4,759,539
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	1,220,578
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,220,578
負債・資本合計	9,458,483
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,637	187,851
資本勘定繰入	23,137	23,137
計	244,774	210,988

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		熊本県	
市町村・組合名	天草市		
病院名	国民健康保険 天草市立 新和病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,140 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	74.3	89.0	91.4
療養	-	-	-	96.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	74.3	89.0	95.3
平均在院日数(一般病床のみ)		34.3	43.8	41.9

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	64,388,013	
標準財政規模(千円)	31,222,012	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	20.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.9
修正医業収益(千円)	410,944

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	590,952			
1 経常収益	590,952			
(1) 医業収益	445,651			
入院収益	213,333			
外来収益	164,011			
診療収入計	377,344			
その他医業収益	68,307			
(うち他会計負担金)	34,707			
(2) 医業外収益	145,301			
(うち国・都道府県補助金)	58,095			
(うち他会計補助・負担金)	69,207			
(うち長期前受金戻入)	12,602			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	612,530			
2 経常費用	612,530			
(1) 医業費用	596,624			
職員給与費	446,654	100.2	62.1	89.0
材料費	50,742	11.4	25.3	14.0
(うち薬品費)	20,419	4.6	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,216	4.3	11.4	5.4
減価償却費	34,295	7.7	9.5	13.0
経費	61,359	13.8	22.7	47.1
(うち委託料)	17,413	3.9	12.6	22.5
研究研修費	608			
資産減耗費	2,966			
(2) 医業外費用	15,906			
(うち支払利息)	3,705	0.8	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-21,578			
純損益	-21,578			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.5		101.9	98.5
医業収支比率	74.7		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	23.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	17.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	79.5		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,458,483
1 固定資産	5,595,059
(1) 有形固定資産	4,464,953
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,129,246
2 流動資産	3,863,424
(1) 現金及び預金	2,789,470
(2) 未収金及び未収収益	1,077,232
(3) 貸倒引当金()	3,278
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,698,944
1 固定負債	2,827,948
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,921,860
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	906,088
(7) リース債務	-
2 流動負債	877,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	358,814
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,535
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,253
(9) 前受金及び前受収益	12,703
3 繰延収益	993,443
(1) 長期前受金	1,738,789
(2) 長期前受金収益化累計額()	745,346
資本合計	4,759,539
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	1,220,578
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,220,578
負債・資本合計	9,458,483
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,029	103,914
資本勘定繰入	14,826	14,826
計	197,855	118,740

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 熊本県	
市町村・組合名	天草市				
病院名	河浦病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,328 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	39	61.9	70.3	76.7
療養	60	55.0	68.4	75.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	57.7	69.1	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	22.7	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	75,783	
決算規模(千円)	64,388,013	
標準財政規模(千円)	31,222,012	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	20.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	981,860			
1 経常収益	981,860			
(1) 医業収益	600,578			
入院収益	393,671			
外来収益	140,980			
診療収入計	534,651			
その他医業収益	65,927			
(うち他会計負担金)	42,739			
(2) 医業外収益	381,282			
(うち国・都道府県補助金)	153,685			
(うち他会計補助・負担金)	195,911			
(うち長期前受金戻入)	25,419			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	969,552			
2 経常費用	969,552			
(1) 医業費用	930,479			
職員給与費	604,484	100.7	62.1	78.9
材料費	64,394	10.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	20,932	3.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,903	4.8	11.4	6.0
減価償却費	74,709	12.4	9.5	11.7
経費	184,541	30.7	22.7	31.2
(うち委託料)	89,975	15.0	12.6	14.3
研究研修費	706			
資産減耗費	1,645			
(2) 医業外費用	39,073			
(うち支払利息)	10,635	1.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	12,308			
純損益	12,308			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		101.9	100.3
医業収支比率	64.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	24.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	24.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	76.7		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,458,483
1 固定資産	5,595,059
(1) 有形固定資産	4,464,953
(2) 無形固定資産	860
(3) 投資その他の資産	1,129,246
2 流動資産	3,863,424
(1) 現金及び預金	2,789,470
(2) 未収金及び未収収益	1,077,232
(3) 貸倒引当金()	3,278
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,698,944
1 固定負債	2,827,948
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,921,860
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	906,088
(7) リース債務	-
2 流動負債	877,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	358,814
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	130,535
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,253
(9) 前受金及び前受収益	12,703
3 繰延収益	993,443
(1) 長期前受金	1,738,789
(2) 長期前受金収益化累計額()	745,346
資本合計	4,759,539
1 資本金	3,538,961
2 剰余金	1,220,578
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,220,578
負債・資本合計	9,458,483
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.0
修正医業収益(千円)	557,839

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	362,423	238,650
資本勘定繰入	52,812	52,812
計	415,235	291,462

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	和水町				
病院名	和水町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,222 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	49	46.9	61.8	61.9
療養	42	51.7	53.2	41.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	91	49.1	57.8	52.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	17.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	9,342	
決算規模(千円)	10,100,538	
標準財政規模(千円)	4,345,577	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.3
修正医業収益(千円)	576,097

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	989,943			
1 経常収益	989,048			
(1) 医業収益	671,883			
入院収益	356,867			
外来収益	139,025			
診療収入計	495,892			
その他医業収益	175,991			
(うち他会計負担金)	95,786			
(2) 医業外収益	317,165			
(うち国・都道府県補助金)	201,990			
(うち他会計補助・負担金)	103,648			
(うち長期前受金戻入)	10,994			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	895			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	905,529			
2 経常費用	905,529			
(1) 医業費用	868,605			
職員給与費	532,707	79.3	62.1	78.9
材料費	67,293	10.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	27,349	4.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,321	5.4	11.4	6.0
減価償却費	61,001	9.1	9.5	11.7
経費	207,210	30.8	22.7	31.2
(うち委託料)	108,023	16.1	12.6	14.3
研究研修費	394			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	36,924			
(うち支払利息)	5,366	0.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	83,519			
純損益	84,414			
累積欠損金	413,538			
経常収支比率	109.2		101.9	100.3
医業収支比率	77.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	20.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	87.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,734,939
1 固定資産	838,862
(1) 有形固定資産	838,862
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	896,077
(1) 現金及び預金	634,990
(2) 未収金及び未収収益	258,629
(3) 貸倒引当金()	680
(4) 貯蔵品	3,138
3 繰延資産	-
負債合計	601,359
1 固定負債	391,225
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	391,225
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	107,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,007
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,788
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,024
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	102,318
(1) 長期前受金	236,656
(2) 長期前受金収益化累計額()	134,338
資本合計	1,133,580
1 資本金	1,544,236
2 剰余金	-410,656
(1) 資本金剰余金	2,882
(2) 利益剰余金	-413,538
負債・資本合計	1,734,939
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	199,469	199,434
資本勘定繰入	36,425	36,425
計	235,894	235,859

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 熊本県	
市町村・組合名	山都町				
病院名	山都町包括医療センターそよう病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,480 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	57	70.3	69.4	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	57	70.3	69.4	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	19.0	26.0

設立団体の状況		
人口(人)	13,503	
決算規模(千円)	15,219,414	
標準財政規模(千円)	7,366,767	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	82.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	6.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.9
修正医業収益(千円)	773,523

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,049,947			
1 経常収益	1,026,027			
(1) 医業収益	828,553			
入院収益	400,403			
外来収益	352,177			
診療収入計	752,580			
その他医業収益	75,973			
(うち他会計負担金)	55,030			
(2) 医業外収益	197,474			
(うち国・都道府県補助金)	53,159			
(うち他会計補助・負担金)	95,390			
(うち長期前受金戻入)	16,299			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,920			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,069,452			
2 経常費用	1,067,861			
(1) 医業費用	1,005,608			
職員給与費	558,941	67.5	62.1	78.9
材料費	103,325	12.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	46,511	5.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,612	5.7	11.4	6.0
減価償却費	80,813	9.8	9.5	11.7
経費	241,731	29.2	22.7	31.2
(うち委託料)	107,049	12.9	12.6	14.3
研究研修費	377			
資産減耗費	20,421			
(2) 医業外費用	62,253			
(うち支払利息)	12,570	1.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	1,591			
損益				
経常損益	-41,834			
純損益	-19,505			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.1		101.9	100.3
医業収支比率	82.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	18.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	82.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,279,928
1 固定資産	1,276,981
(1) 有形固定資産	1,276,981
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,002,947
(1) 現金及び預金	813,902
(2) 未収金及び未収収益	181,911
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,134
3 繰延資産	-
負債合計	1,226,628
1 固定負債	998,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	986,341
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,918
(7) リース債務	-
2 流動負債	123,510
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,419
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,519
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	104,859
(1) 長期前受金	355,871
(2) 長期前受金収益化累計額()	251,012
資本合計	1,053,300
1 資本金	870,356
2 剰余金	182,944
(1) 資本金剰余金	83,232
(2) 利益剰余金	99,712
負債・資本合計	2,279,928
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	172,173	150,420
資本勘定繰入	29,260	29,260
計	201,433	179,680

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		熊本県	
市町村・組合名	くまもと県北病院機構設立組合		
病院名	くまもと県北病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	13,797,205	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	457			
1 経常収益	457			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	457			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	457			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	457			
2 経常費用	457			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	457			
(うち支払利息)	457	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	228	457
資本勘定繰入	49,889	99,777
計	50,117	100,234

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	小国町外1ヶ町公立病院組合				
病院名	小国公立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,387 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	73	51.1	70.4	72.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	73	51.1	70.4	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.2	12.4	14.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.1
修正医業収益(千円)	812,437

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,732,802			
1 経常収益	1,732,802			
(1) 医業収益	899,008			
入院収益	480,739			
外来収益	286,214			
診療収入計	766,953			
その他医業収益	132,055			
(うち他会計負担金)	86,571			
(2) 医業外収益	833,794			
(うち国・都道府県補助金)	355,436			
(うち他会計補助・負担金)	165,073			
(うち長期前受金戻入)	20,361			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,580,823			
2 経常費用	1,580,823			
(1) 医業費用	1,193,124			
職員給与費	694,461	77.2	62.1	78.9
材料費	107,016	11.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	64,179	7.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,180	3.8	11.4	6.0
減価償却費	41,965	4.7	9.5	11.7
経費	347,538	38.7	22.7	31.2
(うち委託料)	109,473	12.2	12.6	14.3
研究研修費	1,685			
資産減耗費	459			
(2) 医業外費用	387,699			
(うち支払利息)	1,545	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	151,979			
純損益	151,979			
累積欠損金	910,061			
経常収支比率	109.6		101.9	100.3
医業収支比率	75.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	28.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	14.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	93.7		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,313,908
1 固定資産	934,254
(1) 有形固定資産	896,714
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	37,540
2 流動資産	379,654
(1) 現金及び預金	110,792
(2) 未収金及び未収収益	266,079
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,782
3 繰延資産	-
負債合計	529,386
1 固定負債	164,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,280
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	600
(7) リース債務	6,294
2 流動負債	102,657
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,242
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,360
(6) リース債務	2,379
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,077
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	262,555
(1) 長期前受金	578,537
(2) 長期前受金収益化累計額()	315,982
資本合計	784,522
1 資本金	1,531,738
2 剰余金	-747,216
(1) 資本金剰余金	162,845
(2) 利益剰余金	-910,061
負債・資本合計	1,313,908
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	247,243	251,644
資本勘定繰入	9,549	32,097
計	256,792	283,741

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				熊本県	
市町村・組合名	球磨郡公立多良木病院企業団				
病院名	多良木病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,337 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	183	79.0	76.6	70.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	183	79.0	76.6	70.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	16.4	15.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.9
修正医業収益(千円)	2,987,911

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,622,723			
1 経常収益	4,621,024			
(1) 医業収益	3,047,911			
入院収益	1,870,191			
外来収益	979,670			
診療収入計	2,849,861			
その他医業収益	198,050			
(うち他会計負担金)	60,000			
(2) 医業外収益	1,573,113			
(うち国・都道府県補助金)	346,262			
(うち他会計補助・負担金)	201,134			
(うち長期前受金戻入)	57,856			
(うち資本費繰入収益)	35,000			
(3) 特別利益	1,699			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,417,719			
2 経常費用	4,417,441			
(1) 医業費用	3,359,993			
職員給与費	1,969,410	64.6	62.1	67.4
材料費	402,747	13.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	173,907	5.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	192,432	6.3	11.4	8.8
減価償却費	263,344	8.6	9.5	10.7
経費	717,122	23.5	22.7	29.2
(うち委託料)	193,811	6.4	12.6	13.9
研究研修費	3,435			
資産減耗費	3,935			
(2) 医業外費用	1,057,448			
(うち支払利息)	25,103	0.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	278			
損益				
経常損益	203,583			
純損益	205,004			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.6		101.9	100.3
医業収支比率	90.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	98.7		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,703,128
1 固定資産	5,020,615
(1) 有形固定資産	3,994,438
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,026,177
2 流動資産	2,682,513
(1) 現金及び預金	1,798,046
(2) 未収金及び未収収益	904,475
(3) 貸倒引当金()	38,668
(4) 貯蔵品	18,660
3 繰延資産	-
負債合計	2,812,069
1 固定負債	1,297,336
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,272,865
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	24,471
2 流動負債	518,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,695
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	154,941
(6) リース債務	22,386
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	173,661
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	996,077
(1) 長期前受金	2,163,332
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,167,255
資本合計	4,891,059
1 資本金	2,647,262
2 剰余金	2,253,601
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,253,601
負債・資本合計	7,703,128
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	478,742	261,134
資本勘定繰入	118,796	69,000
計	597,538	330,134

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。